

K P I

- ・2018年度までを目標に地域医療情報連携ネットワークの全国各地への普及実現【約200(2015年5月現在)】
- ・2020年度までに400床以上の一般病院における電子カルテの普及率を90%【77.5%(2015年10月現在)】

主な施策項目	改訂2015上のスケジュール	実行状況
<p>医療等分野でのデータのデジタル化・標準化の推進／地域医療情報連携(介護を含む)等の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各都道府県が策定する医療計画等に地域医療情報連携ネットワークの今後の取組の記載を促すとともに、地域医療介護総合確保基金による病床の機能分化・連携のためのネットワーク構築費用の支援策等を講ずる ・診療報酬におけるICTを活用した医療情報連携の評価の在り方:次期診療報酬改定時に検討 ・保険者を異動した場合の特定健診情報の円滑なデータ引継方法等:本年度中を目途に検討、結論 ・電子版お薬手帳の更なる機能性の向上:本年度中に検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想の実現に向けた、病床の機能分化・連携のための地域医療連携ネットワークの構築については、基金の活用が可能であり、平成26年度調査によると医療情報連携ネットワークは207運用されている。<u>各都道府県に少なくとも1つ以上のネットワークが構築されている状況(鳥取県を除く)</u>であり、計画中、構築中を含めると総計238のネットワークが運用される見込み。 ・医療情報連携ネットワークの構築を推進するため、平成28年度予算概算要求においては、連携する医療機関の間で電子カルテデータを共有する際に必要となる標準的な通信規格等を情報発信するための経費を要求している。 ・次期の医療計画の見直しにおいて、医療情報連携ネットワークの今後の取組の記載を都道府県が適切に行えるよう、必要な検討を行ってまいりたい。 ・なお、平成26年10月現在、400床以上の一般病院における電子カルテの普及率は77.5%となっている。 ・診療報酬におけるICTを活用した医療情報連携の評価の在り方については、平成27年7月22日の中央社会保険医療協議会診療報酬基本問題小委員会で、ICTを活用した医療情報連携の評価の在り方について議論(論点は、<u>ICTを用いた情報共有の進め方及びその評価のあり方</u>)。本年度内の結論に向け、中央社会保険医療協議会で引き続き検討中。 ・保険者を異動した場合の特定健診情報の円滑なデータ引継方法等については実務担当者によるWGを11月から開催し、<u>保険者間での特定健診・保健指導データ移動や本人同意取得方法等の具体的な手順等について検討し、本年度内に具体的な手順等を明確にするよう、引き続き検討中。</u> ・平成27年11月に、<u>どの電子版お薬手帳を利用しても医療機関や薬局のパソコンから一元的に閲覧できる仕組みの構築に係る留意事項等に関する通知を发出し、薬局関係者や運営事業者等の取組を推進。</u>

「医療・介護等分野におけるICT化の徹底」に関する主な施策の実行状況

平成27年12月11日

K P I

- ・2018年度までを目標に地域医療情報連携ネットワークの全国各地への普及実現【約200(2015年5月現在)】
- ・2020年度までに400床以上の一般病院における電子カルテの普及率を90%【77.5%(2015年10月現在)】

主な施策項目	改訂2015上のスケジュール	実行状況
医療等分野でのデータのデジタル化・標準化の推進／地域医療情報連携(介護を含む)等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・患者本人が自らの生涯にわたる医療情報を経年的に把握する方策:来年度末までに検討、結論 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者本人が自らの生涯にわたる医療情報を経年的に把握する方策:来年度末までに検討、結論 ・総務省及び厚生労働省において、平成27年6月より「クラウド時代の医療ICTの在り方に関する懇談会」を開催し、健康・医療・介護情報を個人が効率的に収集・活用する仕組み(PHR)の在り方等について検討を行い、同11月に報告書を公表。報告書の内容も踏まえつつ、来年度以降の検証に向けた具体的方策を検討中。
医療介護政策(医療介護の質の向上、研究開発促進、医療介護費用の適正化等)へのデータの一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年までを目標とした医療等分野の関連データベースの連携の実現等のための具体的施策と実施スケジュールを盛り込んだ「医療等分野データ利活用プログラム(仮称)」の策定:本年度中に次世代医療ICT基盤協議会において策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療等分野データ利活用プログラム(仮称)」の本年度中の策定に向け、次世代医療ICT基盤協議会において検討中。具体的には、同協議会第2回を12月25日に、第3回を3月頃に開催し、策定する予定。 ・医療等分野の研究開発活動の活性化等を目的として、医療機関等への具体的なデータ利活用方策(代理機関(仮称)の創設)を検討。
民間ヘルスケアビジネス等による医療等分野のデータ利活用の環境整備		